

幼稚園・学校番号	1509413
施設名(園名等)	上ノ原幼稚園

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年長5歳児 きりん組 担任(教諭名): 柴田明日香

### 1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

お芋ほり ③「きりんランチ(カレー作り)」

#### テーマの設定理由

日頃から夏野菜などの栽培を通して、その生長に関心を高めている子どもの姿から、本テーマを設定した。旬の野菜に触れ、生長を知り、味わうことで、触覚や嗅覚だけでなく、味覚も働かせながら「食」としての自然に触れる体験をする。本体験を通し、植物としての自然の変化に心を動かすだけでなく、自分たちで収穫をする喜び、食を大切にしようとする心が育まれることを期待する。園内でサツマイモの生長に触れられる園庭環境を生かすとともに、さらに園外に「お芋ほり遠足」に出ることでより充実感を味わいながら興味関心を深める体験となることを目指す。

### 2. 活動スケジュール(活動の流れ)

1. おいもほり遠足でのサツマイモの収穫(10月)…別途活動報告「おいもほり遠足」に記載
2. 調理活動「きりんランチ」(11月)
  - ①収穫したサツマイモに感謝をする
  - ②包丁を使用し、サツマイモを一口大に切る
  - ③クラスの友だち、保育者と共に感謝しながら調理したカレーを食べる

### 3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した道具、環境の設定>

- ・事前に、包丁の安全な扱い方の共通理解をする時間の設定
- ・収穫したサツマイモ
- ・その他調理に必要な材料・道具

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

- ・活動を始める前、自分たちで収穫したサツマイモがカレーになることに期待をする子どもたちの声がたくさん挙がっていた。友だち同士で、エプロンや三角巾をつける工程を手伝い合いながら準備をしていた。
- ・5人ずつくらいのグループに対し1人の保育者が付き、安全に配慮して調理をした。調理が始まると、真剣な眼差しで包丁を扱い、サツマイモを切っていた。「固い！」と言いながら切っている子どもが多かった。保育者は包丁を持つ手、支える側の手（猫の手の形）が崩れないように見守った。
- ・調理後、カレーを食べる中で、自分たちが切ったサツマイモが入っているカレーが目の前にあることに期待を膨らませて鍋を覗く姿があった。保育者に配膳してもらい、喜びを共有しながら食べる姿があった。「ジャガイモより甘いカレーになるんだね」「いつものカレーより美味しい」「自分で切ったおいもが入っているから美味しい！」といった声が挙がった。
- ・活動の終わりは、食材や作ってくれた人に感謝をして、日頃から過ごしていくことを子どもたちに伝えた。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・自分たちで収穫した食材を調理してみんなで食べる、という経験を通して、様々な刺激、学びを得ている様子が見受けられた。
- ・日々の食事で口にしている食材へ改めて感謝をすることに加え、その食材を美味しく育ててくださっている農家の方、その食材を買ってくれる保護者など、周りの人への感謝も口にしていた。加えて、当園はキリスト教保育を基盤としているため、神さまからの食材の恵みに感謝しながら過ごすことができた。
- ・給食に苦手意識を持つ子どもたちが、この日のカレーはよく食べている印象があり、「自分たちで掘ったおいもだからおいしい」「みんなで作ったカレーをみんなで食べられることが嬉しい」と喜びを共有しながら食べており、良い食育の機会にもなっていることを感じた。